

ag

わずか約3.5グラム!
よりクリアな音質に



新しくなっても、軽くて小さい

普段使いに、
ちょうどいい。

わずか約3.5グラム。かわいいフォルムと豊富なカラバリ、シリーズ最小・最軽量で、累計30万台出荷の大人気ベストセラー、ちょうどいいイヤホン「COTSUBU」が第2世代へと進化を遂げた!

COTSUBU
MK2

¥OPEN (直販サイト価格 ¥6,980 / 税込)

▶ 投票 No.018

SPEC ● 通信方式: Bluetooth 5.2 ● 対応コーデック: SBC, AAC, aptX ● ドライバー口径: 非公開 ● 連続再生時間: 5時間 (ケース込み20時間) ● 質量: 3.5g (イヤホン/片側) ● 付属品: イヤーチップ (SS/S/M)、充電ケーブル

さらなる高音質へ、累計出荷30万台突破のベストセラーが進化

とても小型で約3.5gのイヤホン本体による軽快なフィット感、指紋がつきにくく手触りもよい粉雪塗装、可愛らしくも落ち着きのあるカラーを備え、2021年の発売以来ロングセラーを続ける完全ワイヤレスイヤホン、ag「COTSUBU」がMK2へと進化した。

完成度の高いデザインはほぼそのまま受け継がれている。実際、本体を回転しながら装着することで確かなフィット感をもたらしてくれる「アジャストフィット機構」の効用は素晴らしく、ノズル部が耳穴にしっかり挿入される「ディープフィット設計」とも相まって高い遮音性が確保されている。ANC非搭載でもそれほど不満に思わないのが新旧「COTSUBU」共通の特徴だ。機能面では「オートペアリング機能」や「片耳モード」、クアルコム「QCC3040」チップによる安定した接続、IPX4の生活防水など使い勝手も十分配慮されている。MK2では、これに加えて「タッチ操作無効」のオンオフが選べるようになった。そして最大の進化は、もしかすると音質かもしれない。final監修のサウンドは、より雑味の少ない、纏まりのよい音色傾向へと変化した。たとえばボーカルは歌手それぞれの特徴がより伝わるし、音場表現もずいぶん見通しがよくなっている。情報量が増えてボーカルやメイン楽器の存在感も強まっているのだが、絶妙に纏まりのよい音色傾向のおかげで聴き心地もいい。

文句なしの装着性と、さらに聴きやすくなったサウンド。さらなる進化は、好評を持って受け入れられそうだ。(野村ケンジ)



遮音性が高い しっかりフィット

イヤホン本体が小さく、耳穴の奥にしっかりと挿入するディープフィット設計だから、とても遮音性が高い! ちなみに音質はハイエンドブランドfinal監修。「音の透明感」を追求して、サウンド傾向を新たに調整しなおしたという。

新たな7つのカラー 指紋つきにくい塗装

初代モデルで好評だったスカイ、ブラック、サクラ、クリームの4色に加えて、新たにネイビー、ミント、レモンの3色を追加。指紋のつきにくい独自の「粉雪塗装」はマットな触感で手に馴染みやすい。

